

専門家との検討

戦略策定

(4) 地域交通の関わり

地域観光を考える上では、地域交通の関わりも外せないポイントとなる。青森県深浦町では深浦マグロステーキ丼を食べに行くというストーリーを軸に、交通面でJR東日本と連携し、ローカル鉄道線の「五能線リゾートしらかみ」の絶景の旅として、旅行商品としての連携を図っている。当ツアーでは、漁船に乗って海から白神山地を眺めたり、漁業体験後に、港の番屋で漁師料理として「漁師の朝飯」という体験メニューも実施している。



【参考】JR東日本：五能線の旅

<https://www.jreast.co.jp/akita/gonosen/>

同じように、神奈川県三崎港では、京急電鉄が「みさきまぐろきっぷ」として鉄道＋体験きっぷを販売しており、お得な日帰り体験ツアーとして、多くの観光客の誘致に成功している。

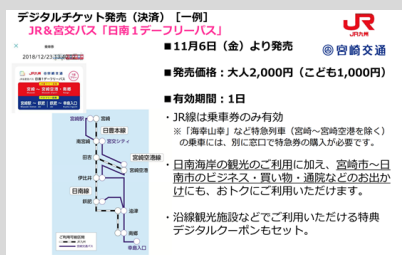


【参考】京急電鉄：みさきまぐろきっぷ

https://www.keikyu.co.jp/visit/otoku/otoku_maguro/

このような取組は、近年では、MaaS(Mobility as a Service)と言われており、地域活性化の手法の1つとして、地域での導入が進んでいる。国土交通省ではMaaSを公共交通か否か、またその運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ(移動)を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念と定義しているが、近年では、様々なサービスと交通の限定パスを個人が簡単に買えるようにした商品のことを指すことが多い。

⇒日南市においても、TOYOTAがJR九州、宮交バスと連携したマイルートというMaaSサービスを提供しているが、このようなサービスに対して、カツオ炙り重の連携を提案することも重要なのではないかと考える。



【参考】JR九州：JR九州 & 宮交バス

<https://www.jrkyushu.co.jp/maas/miyazaki/ticket>

専門家との検討

戦略策定

【専門家からの主な意見】

※吉田氏の意見

(1) 観光資源の評価

- ✓ それぞれの資源は魅力的であるが、日南に来てもらうという目的化をしていくことは若干ハードルが高い。
- ✓ 飫肥の町並みは魅力的だが、もう少し明確なストーリー性を伝えたい。
- ✓ 飫肥に滞在するにはもう少し滞在プログラムの充実が必要。
- ✓ 全体のコンセプトがもっとエッジが立ってくると魅力的。
- ✓ かつお日本一という明確な差別化ポイントはもっと訴求すべき。
- ✓ 各種料理や漁師さんとの交流は魅力的。
- ✓ 大島滞在の潜在性はあるがターゲットはニッチである。キャンプ、合宿の受入れ等で一つの素材として完成されており、観光資源として推すなら、リピーター客に絞った方が良い。
- ✓ 港の駅めいつは、インフォメーションハブになり得る。

⇒「日南かつお一本釣り」を誘客のフックとして、「港の駅めいつ」の更なる活用や「飫肥城下町」のストーリー性を伝えていくために、滞在プログラムの磨き上げを行う。また、地域住民との交流を通して、感じるこ
とのできる空気感も重要な訴求ポイントであると捉える。

(2) 今後の旅行商品のコンセプト

- ✓ 現在来県している層を着実に伸ばすという指針が一番大事。
- ✓ 時間単価の発想を持つべき。(港の駅めいつのレストランの混雑状況を受けて)
- ✓ かつお日本一の里で滞在することで得られる経験を明確にすべき。
- ✓ 広島東洋カープ等の交流人口をもう少し有効活用していく必要がある。「食」との融合を図るべき。
- ✓ 特別感のあるコンテンツ、プレミアム路線を目指す。(単価アップしても訴求力のあるプレミアムチケット等)
⇒ゼロから呼ぶのではなく、今来てくれた方がもっとリピートしたくなる、繋がりを持ち続けたい仕掛け作り
を。(特別感を感じることができるコンテンツの検討や観光資源を選択する。時間単価の発想を持つ。)

(3) 観光資源のブランド化にむけて(P Rの手法)

- ✓ 「日南=かつお」を訴求するだけでも十分戦える。「かつお日本一」というキャッチコピーで差別化を。
- ✓ 食べ方の提案も既に面白いのでその点を着実に広げていく。
- ✓ プロセスエコミー(ふるさと納税やクラウドファンディング等)をもっと有効活用する。
- ✓ ターゲットを明確に絞ってその層を着実に伸ばすところから展開する。(県内の流入拡大、九州内の拡大)
⇒PR内容やターゲットを明確にする。ふるさと納税等を活用しながらもっと地域のストーリーを伝えなが
ら生産者との繋がりがやまたこの地域を応援したくなる流れを加速していけるとよい。

今後の旅行商品の展開に向けた提案

戦略策定

訴求ターゲット

第一ターゲット：①若年層(主に女性)・②年配層・熟年夫婦

第二ターゲット：③九州圏内のマイクロツーリズム

(設定根拠)

①**若年層(主に女性)**：地域住民の人情味ある気質、地域性が醸し出す空気感を重要な訴求ポイントと捉え、女性向けのCOZY（コージー）な旅＝暖かい・落ち着いた旅をコンセプトに観光素材を組み立てる。居心地の良さ＝“cozy”を体感できる場所として、「武家屋敷 伊藤邸」、「服部植物研究所」、「季楽 飢肥 合屋邸」、「港の駅めいつ」といった観光資源を当てはめ、好奇心を満たし、「また来たい！」と思えるローカルとの巡り合いを提案する。また、フォトジェニックな観光素材が多いことを活かし、旅行者のSNSによる情報発信を通して、認知度向上に寄与するような展開も考えられる。

②**年配層・熟年夫婦**：歴史関心層やアクティブシニア向けのプレミアム路線を主眼に置いたツアー構成を検討する。ウィズコロナ、リベンジ消費の需要に対応した、特別感を得ることのできる観光コンテンツを織り込む。例えば、宿泊施設であれば、限られた人数のみを受け入れている「PAAK Hotel 犀 -sai-」、「季楽 飢肥 合屋邸」を活用する。食事であれば、港の駅めいつのレストランで食事ができる「かつお炙り重」を漁港の外港等のスペースを活用し、野外BBQというかたちで提供することも今後の検討材料とする。これらを提案することで、ツアー自体の客単価を向上させることにも繋がると考える。

③**九州圏内のマイクロツーリズム**：県内を除き、九州内の観光客の来県が多い現状を踏まえ、マイクロツーリズムにフォーカスし日帰りツアーを検討する。また、移動手段は自動車が多数を占めることもあり、日南市の魅力を感じられる日南海岸ルートを中心にツアー構成にする。新型コロナウイルス情勢下において、新たな観光の展開として、現在マイクロツーリズムの考え方が注目されており、リピーター客の獲得につながる。

誘客に向けたコンセプト

訴求ターゲット①～③にそれぞれ対応した、コンセプト①～③を提案

- ①『風情ある飢肥城下町と活気ある目井津漁港を巡るフォトジェニックツアー』
- ②『現代に紡ぐ飢肥林業の歴史と日南かつお一本釣り発展のルーツを辿る旅』
- ③『日本農業遺産 日南一本釣りかつおを堪能する日南海岸きらめきライン日帰りツアー』

(設定根拠)

①②：観光の三大要素の一つである「食」＝「日南かつお一本釣り」を誘客のフックとして、当時の歴史・文化が色濃く残り風情ある「飢肥城下町」と活気ある「港の駅めいつ」を巡る1泊2日ツアーを設計する。基本的に周遊ルートのペースは変わらず、ターゲット層(若年層・年配層・熟年夫婦)によって、観光コンテンツの選択肢を広げることで差別化を図る。

かつての飢肥藩の財政を支えた飢肥林業のストーリー性を基軸として、風情ある飢肥城下町で特別な時間を過ごして頂き、サブコンテンツとして「港の駅めいつ」を拠点に「朝市」や「日南かつお一本釣り」を体感頂く。

歴史関心層向けに飢肥ボランティアガイドが帯同する街歩きプランを提案することも選択肢の一つである。飢肥城下町、活気ある朝市、漁港等での地元住民との交流を通して、日南市のファンになってもらうとともに農業遺産への興味関心を想起させ、農業遺産に対する理解醸成の機会を提供する。

③：現状の観光客層(日帰り、九州内からの来県、自動車による移動)を考慮し、マイクロツーリズムを念頭に置いた、日帰りツアーを展開する。リピーター客を取り込む契機としても推進する。

観光モデルコース案<その①若年層(主に女性)、その②年配層・熟年夫婦>

戦略策定

前頁のターゲット、コンセプトの検討により、「造船材を産出した飼肥（おび）林業と結びつく「日南かつお一本釣り漁業」の発祥・発展ルーツをめぐる「農業遺産」観光モデルコース案を策定した。

【予算目安】お一人様あたり80,000円～110,000円

- ①若年層(主に女性)：『風情ある飼肥城下町と活気ある目井津漁港を巡るフォトジェニックツアー』
- ②年配層・熟年夫婦：『現代に紡ぐ飼肥林業の歴史と日南かつお一本釣り発展のルーツを辿る旅』

日次	時間	行程
1 日 目	8:00-9:40	【空路移動】羽田空港-宮崎空港(JAL687) ※比較的格安な料金設定のある「ソラドエア」や成田空港発着のLCCである「ジェットスター・ジャパン」、「ピーチ・アビエーション」の利用も可能。到着時間が異なるため、行程内容は要調整。
	10:23-10:26	【陸路移動】JR宮崎空港線 宮崎空港駅～田吉駅
	10:40-11:44	【陸路移動】JR日南線田吉駅～飼肥駅 ※飼肥駅到着後、レンタサイクルorタクシー利用を想定。(タクシー・市内バス移動も可能)
	12:00-13:00	【昼食】★武家屋敷 伊東邸 ※飼肥藩 藩主伊東氏の分家筋の由緒正しいお屋敷を改装したレストラン。
	13:00-13:30	【レンタサイクルor徒歩移動】武家屋敷 伊東邸⇒飼肥城址 ※歴史を感じさせる苔むした石垣、色鮮やかな鯉が自由に泳ぎ回る水路を見ながら飼肥城址へ。
	13:30-14:30	★飼肥城址周辺街歩き(飼肥城歴史資料館、しあわせ杉、豫章館、オビダラリー等) ※飼肥藩の歴史、飼肥林業の繁栄のルーツを辿る。SNS映えスポット。 ※飼肥観光ボランティアの帯同も可能。
	14:45-15:15	服部植物研究所 ※世界で唯一のコケ専門の研究機関。苔のテラリウム体験可能(要予約)。SNS映えスポット。
	16:00-16:30	★堀川資料館 ※飼肥杉造りの情緒的な建物。護岸や堀川橋は国登録文化財に指定。
	16:40-17:00	★夢見橋(※樹齢120年の飼肥杉と飼肥石を使用。くぎなどの金属を使わない伝統工法の「木組み」で建造。油津のシンボル。)
	17:30	【宿舎】チェックイン(PAAK Hotel 犀 -sai- or 季楽 飼肥 合屋邸 or ホテル丸万)
	18:00	【夕食】宿舎内(※地元の厳選された食材を使用した料理を堪能する。)

★＝農業遺産に関連する観光資源



武家屋敷 伊藤邸



城下町の様子



飼肥城



豫章館



しあわせ杉



服部植物研究所



堀川橋



夢見橋



PAAK Hotel 犀 -sai-

観光モデルコース案<その①若年層(主に女性)、その②年配層・熟年夫婦>

戦略策定

日次	時間	行程
2 日 目	6:00-6:30	【朝食】(宿舎内)/チェックアウト※荷物一時保管可能
	6:30-6:50	【陸路移動】宿舎⇒南郷地方卸売市場見学 ※タクシー利用想定
	7:00-7:30	★南郷地方卸売市場見学 ※活気ある競りの様子の見学、地元住民との交流の場。SNS映えスポット。
	8:00-9:00	沿海クルーズ (連絡船あけぼの3/チャーター船想定) ※大島、小場島、七つバエ等、かつての漁港の原風景を鑑賞。
	9:00-11:30	★港の駅めいつ漁港周辺散策(虚空蔵島、霧島神社他)
	11:30-12:30	【昼食】★港の駅めいつ 館内レストラン(新ご当地グルメ「かつお炙り重」)
	12:30-13:10	港の駅めいつ 物産館にてショッピング
	13:10-13:40	【陸路移動】港の駅めいつ⇒宿舎⇒バス停留所 飫肥 ※タクシー利用想定
	13:50-14:32	【陸路移動】路線バス 飫肥⇒鵜戸神宮
	14:50-16:20	★鵜戸神宮 ※太平洋に突き出した鵜戸崎岬の突端にある洞窟の中に、朱塗りの色鮮やかな本殿が鎮座する珍しい神社。かつお漁師も信仰する海洋信仰の聖地。国指定名勝であり、岬のまわりには奇岩、怪礁が連なり太平洋の荒波が打ち寄せる美しい景勝地。SNS映えスポット。
	16:42-17:44	【陸路移動】路線バス 鵜戸神宮⇒宮崎空港
	19:00-20:45	【空路移動】宮崎空港-羽田空港 (JAL698) ※比較的格安な料金設定のある「ソラシディア」や成田空港発着のLCCである「ジェットスター・ジャパン」、「ピーチ・アビエーション」の利用も可能。出発時間が異なるため、行程内容は要調整。

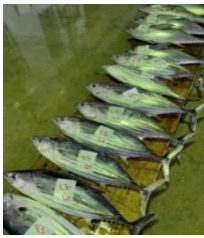
★＝農業遺産に関連する観光資源



目井津漁港の朝の様子



南郷地方卸売市場の様子



虚空蔵島



連絡船あけぼの3



七つバエ



かつお炙り重



鵜戸神宮

【今後の検討事項】

- 「港の駅めいつ」のレストランの混雑緩和のため、インフォメーションボードを設置する。(「かつお炙り重」取扱い店舗のMAP作成を強化する。)
- 宿泊者への優先食事券、割引券等の発行、配布を行う。
- レストランの混雑分散を図り、特別感が味わえるコンテンツとして、「海鮮BBQ」プランを商品化する。(スペース確保等)
- 飫肥城下町内のカフェスポットをMAP化する。
- シーズナリティを問わず、公共交通機関(JR・宮崎交通)+「かつお炙り重」の周遊チケットを商品化する。(Maas)

観光モデルコース案(その③九州圏内のマイクロツーリズム)

戦略策定

【予算目安】お一人様あたり10,000円

③九州圏内のマイクロツーリズム：
『日本農業遺産 日南一本釣りかつおを堪能する日南海岸きらめきライン日帰りツアー』

日次	時間	行程
1 日 目		九州圏内発着 ※自家用車・レンタカーで移動想定。 ※堀切峠、鬼の洗濯板を見ながら南下。
	10:00-11:00	★鵜戸神宮(サンメッセ日南、もしくは猪八重溪谷)
	11:00-12:00	【陸路移動】鵜戸神宮⇒港の駅めいつ
	12:00-13:00	【昼食】★港の駅めいつ 館内レストラン(新ご当地グルメ「かつお炙り重」)
	13:00-14:00	★沿海クルーズ 連絡船あけぼの3(チャーター船)、又は漁港周辺散策(虚空蔵島他)
	14:00-15:00	港の駅めいつ漁港 物産館にてショッピング
		※南下ルート、北上ルートによって、立寄り場所を入れ替える必要あり。

★＝農業遺産に関連する観光資源



きらめきラインの様子



鬼の洗濯板の様子



鵜戸神宮



猪八重溪谷



サンメッセ日南



道の駅めいつ



道の駅めいつ店内の様子

日南市が策定した観光モデルコース案 その①

戦略策定

【設定コンセプト】
専門家の提言に基づき、地域関係者と協議の上、観光モデルコース案を策定した。テーマは、農業遺産のまち日南の海とかつおをたっぷり味わう女子旅。割安の航空便（スカイネットアジア航空）を利用し、農業遺産の2つのコアエリア（飫肥エリア・目井津エリア）に滞在する、1泊2日のコース。

【予算目安】お一人様あたり45,000円

①若年層(主に女性)向け：『かつお日本一のまちで炙る小旅行プラン』

日次	時間	行程
1日目	9:55-11:55	【空路移動】羽田空港-宮崎空港(SNA055)
	12:35-12:37	【陸路移動】JR宮崎空港線 宮崎空港駅～田吉駅
	12:38-13:56	【陸路移動】JR日南線 日南マリン号 田吉駅～南郷駅
	14:00-15:00	【昼食】南郷駅周辺飲食店(お食事処まつ、三代目まんりょう 他) ★伝統料理「かつおめし」、新ご当地グルメ「かつお炙り重」
	15:00-15:20	【徒歩移動】南郷駅⇒宿舎※レンタサイクルorタクシー利用も可能
	15:30	【宿舎】チェックイン (ホテル丸万 or ホテルサーフィン)
	16:00-17:30	★目井津漁港周辺散策
	18:00-19:00	【夕食】宿舎内or周辺飲食店(※地元の厳選された食材を使用した料理を堪能する。)

日次	時間	行程
2日目	(5:00～5:30)	目井津漁港で日の出見学 <日の出時間(冬季)>6時半～7時
	6:00-6:30	【朝食】宿舎内
	7:00-7:30	★南郷地方卸売市場見学 ※活気ある競りの様子の見学、地元住民との交流の場。SNS映えスポット。
	8:00	ホテルチェックアウト
	8:00-9:00	★沿海クルーズ 連絡船あけぼの3(チャーター船) ※大島、小場島、七つバエ等、かつての漁港の原風景を鑑賞。
	9:00-11:30	★目井津漁港周辺散策(虚空蔵島、港の駅めいつ、西明寺 他)
	11:30-12:00	【タクシー移動】目井津漁港⇒JF直売所はまっこ(日南市漁協女性部)
	12:00～14:00	【昼食】大堂津漁港にて海鮮BBQ ※市内宿泊者で2名～4名の2組限定プラン(土曜日のみ)
	14:28-14:36	【陸路移動】JR日南線 大堂津駅～油津駅 ※乗換え
	14:51-16:05	【陸路移動】JR日南線 油津駅～田吉駅 ※乗換え
	16:14-16:17	【陸路移動】JR宮崎空港線 田吉駅～宮崎空港駅
	18:45-20:15	【空路移動】宮崎空港-羽田空港 (SNA064)

★＝農業遺産に関連する観光資源

日南市が策定した観光モデルコース案 その②

戦略策定

【設定コンセプト】
城下町をメインに農業遺産のまち日南を楽しむ気軽な女子旅。割安の航空便(スカイネットアジア航空)を利用する1泊2日のコース。

【予算目安】お一人様あたり70,000円

①若年層(主に女性)向け：『農業遺産のまちでゆっくりする小旅行プラン』

日次	時間	行程
1 日 目	9:55-11:55	【空路移動】羽田空港-宮崎空港(SNA055)
	12:35-12:37	【陸路移動】JR宮崎空港線 宮崎空港駅～田吉駅
	12:38-13:33	【陸路移動】JR日南線 日南マリーン号 田吉駅～飫肥駅
	13:40-14:00	【徒歩移動】飫肥駅→武家屋敷 伊東邸 ※飫肥駅到着後、レンタサイクルorタクシー利用も可能。
	14:00-15:00	【昼食】★武家屋敷 伊東邸 ※飫肥藩 藩主伊東氏の分家筋の由緒正しいお屋敷を改装したレストラン。
	15:00-17:00	★飫肥城址周辺街歩き(飫肥城歴史資料館、しあわせ杉、豫章館、オビダラリー等) ※飫肥藩の歴史、飫肥林業の繁栄のルーツを辿る。SNS映えスポット。 ※飫肥観光ボランティアの帯同も可能。 ※武家屋敷伊東邸(カフェ)で適宜休憩。
	17:00	【宿舎】古民家宿チェックイン(PAAK Hotel 犀 -sai- or 季楽 飫肥 合屋邸)
	18:00-19:00	【夕食】飫肥城周辺飲食店(じっこ綾 他) ※地鶏のレバ刺し等

日次	時間	行程
2 日 目	9:00	【朝食】(宿舎内)/チェックアウト ※チェックアウトまで朝の飫肥城址を適宜散歩/荷物一時保管可能
	9:00-10:15	飫肥城下町「食べあるき・町あるき」 ※「あゆみちゃんマップ」についた5枚の引換券で、地元の食べ物や小物と引き換えが可能。 ※マップは飫肥城観光駐車場にて販売。
	10:15-11:00	服部植物研究所 ※世界で唯一のコケ専門の研究機関。苔のテラリウム体験可能(要予約)。SNS映えスポット。
	11:08-11:34	【陸路移動】路線バス 本町1丁目⇒材木町
	11:34-11:40	【徒歩移動】バス停⇒昼食場所(堀川レストラン戸村)
	11:40-12:30	【昼食】堀川レストラン戸村(★新ご当地グルメ「かつお炙り重」)
	12:30-13:00	【徒歩移動】堀川レストラン戸村⇒★夢見橋⇒バス停 材木町
	13:03-13:22	【陸路移動】路線バス 材木町⇒鵜戸神宮
	13:35-14:25	★鵜戸神宮
	14:32-15:34	【陸路移動】路線バス 鵜戸神宮⇒宮崎空港
	16:55-18:25	【空路移動】宮崎空港-羽田空港 (SNA062)

★＝農業遺産に関連する観光資源